三原市

社協だより

No.62
令和2(2020)年
9月15日

子育てサロン　わんわんサロン

コロナ禍でも“つながり”つづけよう!

※体調確認や消毒などの感染予防策をとった上で開催されています。

子育てサロン　須波あいあいキッズ

新型コロナウイル感染症拡大に伴い，人と出会って話をする機会が減る中，「地域のみんなが集える場所（サロン）」の大切さを改めて感じられました。活動のこれからをみんなで話し合い，感染予防策を取りながら再開するサロンが増えています。

詳しくはP3へ

●赤い羽根共同募金ご協力のお願い …… 2
●特集　Withコロナ …… 4，5
●平成30年7月豪雨の経験をいかして …… 6

社会福祉法人 三原市社会福祉協議会
〒723-0014 広島県三原市城町一丁目2-1
三原市総合保健福祉センター（サン・シープラザ4F）
TEL (0848)63−0570　FAX (0848)63−0599
ホームページ http://www.m-shakyo.jp
Facebook https://www.facebook.com/miharavc/

10月1日より

赤い羽根共同募金 にご協力を!!

赤い羽根共同募金運動は，地域の身近な福祉活動を資金面から支援する募金です。「じぶんの町を良くするしくみ。」というキャッチフレーズのとおり，三原市で集められた募金の約60％は市内の身近な福祉活動に役立てられています。今年度も町内会・自治会等を通じた戸別募金，事業所にご協力いただく法人募金，学校において児童・生徒に呼びかけをする学校募金，行政・社会福祉施設・金融機関等の職員にご協力いただく職域募金など各種運動を展開していきます。

令和元年度共同募金1,261万1,131円は，
三原市内の活動に705万6,131円，広島県内の福祉活動に555万5,000円配分されました。

三原：街頭募金

本郷：街頭募金

久井：学校募金

大和：イベント募金

令和元年度，あなたが募金した100円は，次のような活動に使わせていただきました。

高齢者のための福祉活動に 10 1 円

- 地域で行われるふれあい・いきいきサロンの支援者を対象とした研修会の実施
- 見守りサポーターが地域の気になる人を見守るふれあい訪問活動の実施
- 民生委員・児童委員による，地域の高齢者の方との交流会の実施

障がいのある人のための福祉活動に 50円 円

- 障がいのある人や団体，障がいのある人を支援する団体が行う交流会や研修会への配分
- 福祉事業所の活動器具への配分

児童青少年のための福祉活動に 10 50円 1 1 円

- 地域ぐるみで子育てを応援する地域子育て支援サロンへの活動助成

- 市内小・中学校での福祉教育の推進
- 子どもたちが安心して暮らせる地域づくりのためのあいさつ運動や見守り活動の実施

お互いを支え合うための福祉活動に 10 10 1 1 1 円

- 地域で気軽に集える常設サロンや市内で活動するボランティア団体への活動助成
- 家族介護者やアレルギー疾患を持つ当事者同士が集い，情報交換やリフレッシュする場を提供する活動の開催

広島県内の福祉活動に

10 10 10 10 1 1 1 1 円

- 大規模災害が起きたときにすぐに活用することができる災害等準備金積立金として

各種イベント中止のお知らせ

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため，次のイベント実施に伴う募金活動を中止とさせていただきます。市民の皆さまにはご迷惑をお掛けしますが，ご理解いただきますようよろしくお願いいたします。

- オープニングセレモニーならびに街頭募金（例年10月1日）
  （三原駅前および市内商業施設ほか）
- 歳末たすけあいお茶会（例年12月上旬）
  （ペアシティ西館2階 市民ギャラリー）
- チャリティーバザー（イオン三原店）（例年12月上旬）
  ※チャリティーバザーの中止に伴い，今年度は遊休品（贈答品，石けん，タオル，日用品等）の受付は行っておりません。ご了承ください。

新型コロナウイルス感染症予防に配慮した取り組みのガイドラインを作成しました！

コロナ禍で，住民福祉活動に不安を感じる団体が多い中，活動再開に向けた指針として作成しました。広島県の感染拡大レベルに合わせた地域福祉活動の取り組み例を紹介しています。感染予防に配慮しながら，「安心できる活動」を進めていきましょう。

〈広島県の感染拡大防止に向けた感染拡大レベル毎の主な対応〉

感染拡大レベル	県民に求める対応について	
レベル４	●人との接触を８割削減 ●全日の外出自粛 ●他地域との往来自粛	
レベル３		●屋外、屋内における少人数以外でのイベントの自粛
レベル２	●週末の外出自粛 ●他地域との往来自粛 ●屋内・屋外における少人数以外でのイベントの自粛	
レベル１	●新しい生活様式による感染拡大予防	
全てのレベルに共通	3密回避，体調管理，手洗い・咳エチケット，人との距離確保	

〈社協が作成したガイドラインの内容〉

感染拡大レベル		サロン等の集い
レベル４・３ 自粛の中できることを （全日外出自粛）	3密回避，体調管理，手洗い，咳エチケット，人との距離	従来型 集いは自粛 電話・ ライン訪問 健康づくり
レベル２ 配慮した活動をぼちぼちと （週末外出自粛）		配慮した集いの再開 ・名簿の準備　・定期的な換気と水分補給 ・マスク着用　・手指，会場消毒 ・人との距離と人数 電話訪問（サロン） 情報誌・相談カード等のポスティング
レベル１（新しい生活様式） 配慮しながら活動を進めましょう		配慮した集いの推奨 ・マスク着用　・定期的な換気と水分補給 ・人との距離　・手指，会場消毒

※広報誌作成時（8月末日現在）の感染拡大レベルは１です

サロンが再開されています

コロナ禍は続いていますが，各地でふれあい・いきいきサロンが再開されています。また，新たにサロンを立ち上げた地域もあり，「集いたい」という思いの強さを感じます。再開が難しいと感じられる地域では，電話や訪問などの声掛け活動に取り組むなど工夫しています。

大和

久井

本郷

三原

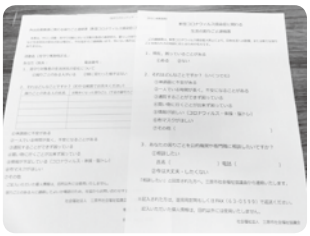
〈再開したサロンの声〉

- サロンの再開を機にまた地域の人との話が出来て楽しかった。
- 長い自粛で，体力と筋力が落ちててビックリ！
- ここに来ると元気をもらえる。
- サロンだけが楽しみだったので，再開で集まれてうれしい！
- 不安は大きかったけど，再開して良かった！

特集

With コロナ

「困りごと連絡票」が活用されています
～地域のつながりが持つ力～



社協ではコロナ禍での，「不安」や「しんどさ」を抱え込まないためのツールとして，サロン代表者および見守り活動の福祉推進員に対して「困りごと連絡票（以下連絡票）」を配布しました。

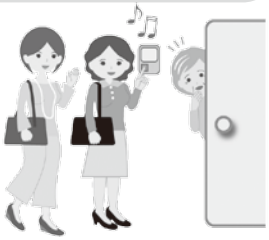
連絡票には，「体調面」「寂しさ」「情報不足」などの困りごとの状況だけでなく，推進員が困りごとに対応した様子が丁寧に書かれているものもありました。連絡票を活用された声を紹介します！

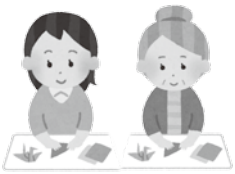
これまでに約50件の連絡票が社協に届きました。社協では，地域の方と連携したり，他機関へつなげる支援を行ったりしています。

サロン支援者の声　～サロン活動だけでは見えないことに気づけた！～

「月1回サロン活動をしていて，Aさんのことを分かっているつもりだったけれども，自粛中に電話や訪問してお話しする機会が増えて，食事の様子や家でこけてちょっとケガしたこと，ご近所の方の様子など，知らなかったことがたくさんありました。自粛中のしんどさを話される方には連絡票を渡して，社協にも相談するように伝えました。私達（地域の人）には相談しにくいこともあると思うから。」

福祉推進員の声　～福祉の専門職が関わってくれて安心した～





「最近Bさんの様子がおかしい」と連絡票を送ったところ，社協の方が一緒にBさんの家を訪問してくれました。Bさんは外出や人と触れ合う機会が減ったことで，認知症の症状がひどくなっていました。その後は，サロン支援者，民生委員，包括支援センターの方も協力してくれて，お話を聞いたり，折り紙などを一緒にしたりする中で，少しずつ症状が落ち着いていきました。少しほっとしました。福祉の専門職が一緒に訪問してくれたのはとても心強かったです。」

各地域センター　三原　☎０８４８-６３-０５７０　本郷　☎０８４８-８６-３６０７
久井　☎０８４７-３２-７１０１　大和　☎０８４７-３４-１２１４

ボランティア活動

手話サークル「うきしろ昼間部，夜間部」

手話でのコミュニケーションの場合，マスクで口元が隠されると，聴覚障害者が唇の動きを読み取りながら内容を理解することが難しくなります。そのため，マスクの代わりにフェイスシールドを着用したり，換気を十分に行ったりして活動しています。

音楽活動団体「どらわこ」

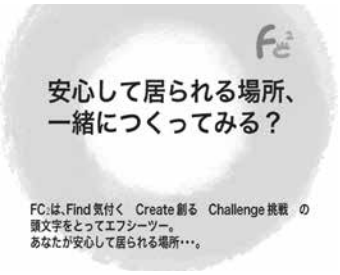
施設で音楽活動をしていたボランティア団体「どらわこ」は，自作で音楽動画DVDを制作し，関係施設に毎月配布しています。

三原市ボランティア・市民活動サポートセンター（☎ ０８４８-６７-９３３９）

FC₂（エフシーツー）（学習・生活支援事業）

～“家のほかに安心できる居場所があったら”の声を形に！～

FC₂とは，学校生活のしづらさを感じている児童や若者が安心して居られる場所です。スタッフは，大学生やボランティアが中心となり，毎週金曜日の　17：30～20：00　サンシープラザ　3階栄養指導室で活動しています。生活の不安や悩みについての相談は専門職が対応します。見学も受け付けていますので気軽にお問い合わせください。



問い合わせ先　社協（☎ ０８４８-６３-０５７０）

ボードゲームで盛り上がったり…。

勉強の仕方を教えてもらったり，おしゃべりしたり…。

緊急食糧支援事業「フードバンク」

失業や病気などにより生活が困窮し，食事が満足に取れない状態になった世帯を対象に緊急的にかつ速やかに食料を提供します。事情をお聞きし，他制度の利用を案内するなど，自立に向けた支援を行っています。この度の新型コロナウイルスによって生活が苦しい方にも食料を提供しています。

三原ライオンズクラブ様より
ご寄付いただきました

コロナによるお金の貸し付け制度 ９月末終了のお知らせ

新型コロナウイルスの影響で休業等により収入が減少した方を対象に行っている貸し付け制度（緊急小口資金・総合支援資金）が，9月末で終了予定です。（8月31日時点の情報です。状況によっては延長されることもあります。）

緊急小口資金（主に休業や収入減少した人向け）

貸付金額　一世帯あたり１回限り　１０万円　※要件によっては２０万円（無利子・無保証）

総合支援資金（主に失業した人向け）

貸付金額　単身世帯　月１５万以内　２人以上世帯　月２０万円以内

貸付期間　原則３ヶ月以内（無利子・無保証）

問い合わせ先

自立相談支援センターみはら　**ところ**　サン・シープラザ４階（社協事務所内）

電　話　０８４８-６７-４５６８

ＦＡＸ　０８４８-６３-０５９９

申請受付　９時００分～１６時００分（土日祝・年末年始は休み）

平成30年7月豪雨災害の経験をいかして

三原市地域支え合いセンター　～自主防災組織との戸別訪問～

梅雨時期に合わせ，地域の自主防災組織の協力を得て，平成30年7月豪雨災害の被災世帯や，1人暮らしの高齢者世帯を訪問し，避難と災害の備えについて注意を呼びかけました。今年はコロナ禍での避難のため，感染予防にも配慮が必要です。

訪問したお宅からは，「地域の防災訓練やサロンに参加して，ご近所同士のつながりを持つように心がけている。」「被災した経験をもとに，逃げる場所は大方決めている。避難準備物も用意している。」といった声が聞かれました。自主防災会の方は，「やはり日頃からのつながりが大切だと思う。まだまだ気を抜けない時期が続くので，地域全体で気を引き締めていきたい。」と話していました。

地域福祉課　～広島大学と協働，災害にも強い地域支え合いマップづくり～

広島大学が作成した地区のハザードマップと住宅情報を合わせた地図上に，自治区役員・民生委員・住民活動者などが感じる「避難に心配な人」・その人と関係性のある人・避難場所・避難経路などを記入し，可視化する取り組みを実施しています。実施した地域からは，「地域全体を見渡すと，避難に心配な人が多いことがわかった」「たくさんの住民と情報を共有できたことが良かった」などの声が上がっています。今後はこのマップを用いて防災訓練や見守り活動の展開を実施地区の皆さんと協議をしていく予定です。

今年度も「災害時に支え合える関係性は平常時から」を基本的な視点に，広島大学と協働して，4地域で取り組みをすすめていきます。

久井町泉地区の様子

三原市ボランティア・市民活動サポートセンター　～災害ボランティア活動～

7月の長雨の影響で，三原市内でも一部の地域で土砂災害が発生しました。相談を受けた世帯の方に対して三原市災害ボランティア登録者延べ45人が，9日間かけて家周りの土砂撤去と床下の土砂撤去を行いました。

災害義援金ご協力のお願い

社協では，社協各地域センターにて，次の義援金を募集しております。

名　　称	受付期間
(1)東日本大震災義援金(配分先：岩手県・宮城県・福島県・茨城県)	～令和3年 3 月31日
(2)平成28年熊本地震災害義援金	～令和3年 3 月31日
(3)平成29年7月5日からの大雨災害義援金(配分先：福岡県)	～令和3年 3 月31日
(4)平成30年7月豪雨災害義援金	～令和3年 6 月30日
(5)令和元年台風第19号災害義援金(配分先：宮城県・福島県・長野県)	～令和3年 3 月31日
(6)令和2年7月豪雨災害義援金 (配分先:山形県・長野県・岐阜県・島根県・福岡県・熊本県・佐賀県・大分県・鹿児島県)	～令和2年12月28日

お預かりした義援金は，全額日本赤十字社・共同募金会を通じて被災地に送ります。引き続きご協力よろしくお願いいたします。

平成三十一年度 三原市社会福祉協議会 事業報告

三原市社会福祉協議会では、「地域共生社会」の実現を目指して、小地域福祉活動(サロン・見守り・生活支援)の一層の充実・支援を図るとともに、関係機関とのネットワークと、総合的な相談支援機能の充実を目指して主に以下のことに取り組みました。

1 福祉活動推進組織の育成と関係機関との連携体制の構築

①小地域の住民活動基盤の強化

○地域のことを話し合う懇談会の開催

・10地域の小学校区、中学校区でサロン交流会や地域福祉懇談会を実施。

○地域を基盤とした交流・支え合い活動の推進

・ふれあいいきいきサロン5地域、常設サロン1地域、見守り活動1地域(次年度スタート)、生活支援3地域でそれぞれ立ち上げ支援。

・ほっとはーとの利用時間数が増加し、公的なサービスで対応できないことによる利用が増加傾向。

②包括的な支援体制づくり

○地域福祉ネットワーク会議の設置と運営

・地域福祉ネットワーク会議を6地域で運営。新たに2地域で準備会を設置。

○専門職間の連携強化と住民活動を支援する体制づくり

・局内連携会議(仮称)の設置と試行的な実施。

③平成30年7月豪雨災害の被災者支援の継続

○三原市地域支え合いセンターの運営

・被災者(自宅が半壊以上の世帯等1、012世帯)を対象に、引き続き205世帯への見守り活動を実施。

○被災者生活サポートボランティア活動

・12件の支援要請に対して、延べ49人のボランティアを派遣。活動を実施。

2 障害者福祉の推進

①相談支援事業

・巡回相談を実施し、相談件数が昨年と比べて2.5倍に増加。8050問題(ひきこもり)相談が増加傾向。

②地域活動支援センターの運営

・障害のある人の日中の居場所づくりと主体的な活動プログラムづくりを実施。

3 相談支援・権利擁護・生活困窮者自立支援事業の推進

①福祉サービス利用相談援助事業「かけはし」

・精神障害者が最も多く、三原市の利用者割合は特徴的。本人との意識差や状況把握に時間がかる場合などケースの複雑さが目立つ。

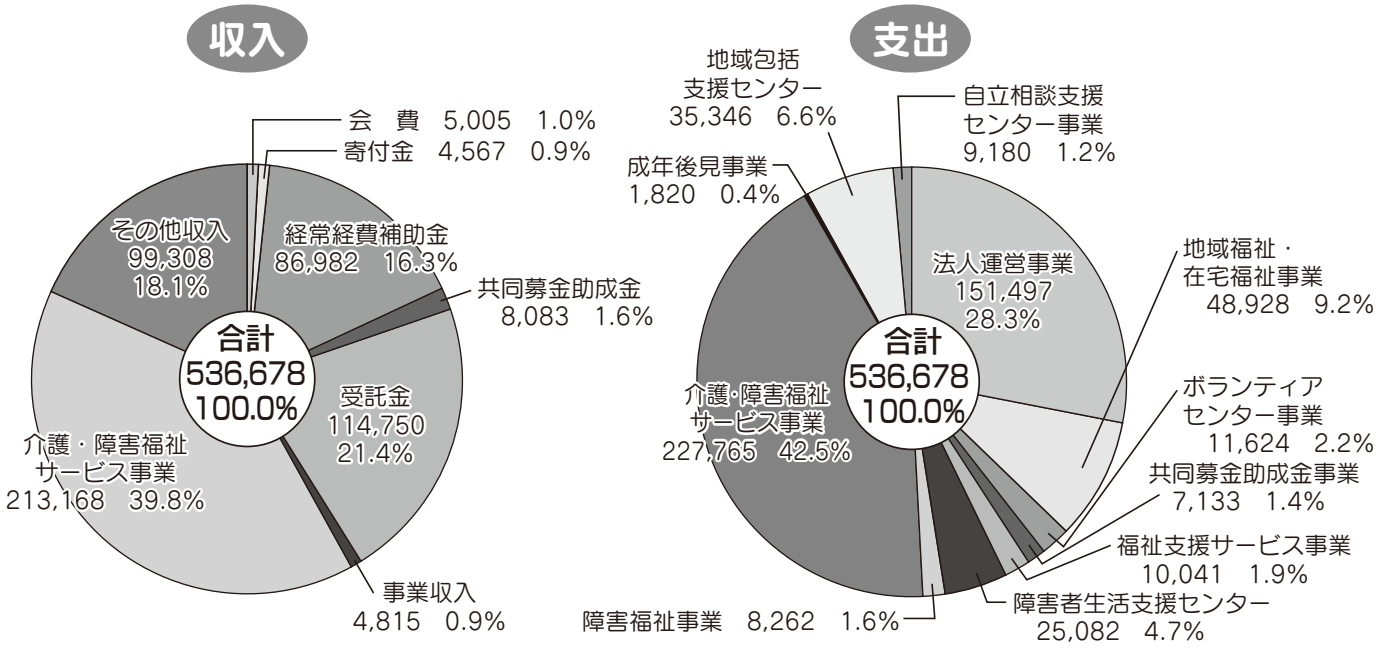
②生活困窮者自立支援事業(自立相談支援センターみはら)

・新規261件。金銭面や就労の課題から、病気や低年金等の生活費の課題、家族関係や子どもの引きこもりの課題など継続した相談支援ケースが増加。

③緊急食糧支援事業(フードバンク)

・生活に困窮している自己破産世帯や母子世帯など24人に818食を提供。

平成31(2019)年度資金収支決算 (単位:千円)



認知症高齢者家族やすらぎ支援員養成講座　開催

認知症高齢者家族やすらぎ支援事業は，認知症がある人のお話し相手と簡単な見守りを通じて，家族の介護負担を軽減することを目的としています。この事業は，支援員として登録いただいた住民のみなさまによって支えられています。

今年度より講座を受講された方は認知症サポーターとしても認定されます。認知症について関心のある方，認知症のある人とその家族の支援を学んでみませんか。

と　き　９月２５日(金)13時30分～16時00分
ところ　サン・シープラザ４階　第１研修室
内　容　認知症の基礎知識
認知症のある人とのコミュニケーション
定　員　３０名(申込先着順)
受講料　無料
申　込　９月１８日(金)までに社協各地域センターへ

第16回みはら福祉大会

地域福祉の向上に尽力された方々に感謝の意を表するとともに福祉のまちづくりの推進を目的に開催します。

と　き　１０月３１日(土)10時00分～11時45分
ところ　サン・シープラザ４階　第３研修室
内　容　表彰　三原市社会福祉協議会会長表彰
講演　「withコロナ～つながりつづける～(仮)」
参加費　無料(事前申し込みをお願いします)
申　込　１０月２６日(月)までに総務課へ
電　話　０８４８－６３－０５７０
ＦＡＸ　０８４８－６３－０５９９

要約筆記奉仕員養成講座

耳が聞こえにくい方のために文字で書いて伝える要約筆記の技術を学んでみませんか。

と　き　１０月１０日(土)～令和３年３月１３日(土)
13時00分～16時00分(全１０回)
ところ　サン・シープラザ４階
内　容　耳の聞こえに障がいがあって話を聞きとることが難しい人のために，話の内容を文字で書いて通訳する要約筆記ボランティアを養成する講座です。話を聞きながら要約してわかりやすく書くための技術や，通訳活動をするのに必要な知識を学びます。
講　師　要約筆記サークルひよこ
対　象　１８歳以上の方
定　員　２０人(申込先着順)
受講料　１，１００円(資料・保険料)
申　込　９月３０日(水)までに
三原市ボランティア・市民活動サポートセンターへ
電　話　０８４８－６７－９３３９
ＦＡＸ　０８４８－６３－０５９９

善意をありがとうございます

令和２年６月１日～令和２年８月31日受付分

本部・三原地域センター受付分

一　般
農林漁業団体退職者連盟三原支部
支部長　谷口　隆三
本町　森岡冨美子
宮浦　戸谷　和夫
福山市宝町
アンリエAIR㈱クリエイト

フードバンク事業資金
三原ライオンズクラブ

香典返し
八幡町　井田　京子

本郷地域センター受付分

一　般
本郷　本郷なかよし会
下北方　大下恵美子

香典返し
本郷北　小畠日出男
本郷町善入寺　北山　修
本郷町南方　石廣　恭子
本郷町南方　槇野　秋人

久井地域センター受付分

一　般
Daddy・Short・Leggs
久井町下津　宮元　博明

香典返し
久井町莇原　上野　秀美
久井町吉田　仁井幾久治
久井町江木　迫　翠
久井町泉　松島　弘泰
久井町和草　土居　稔和
久井町和草　住田　益夫
久井町羽倉　上野　真生
八幡町　只佐　正則

大和地域センター受付分

香典返し
大和町上徳良　元谷　耕三
大和町下徳良　中園多嘉子
大和町大草　澤田　浩和
大和町大草　岡本　秀隆
大和町和木　森定　浩文
大和町椋梨　三好　一志

見舞返し
大和町箱川　松井　節子

お願い

お寄せいただきました寄付金は，地域福祉活動を支えるための貴重な財源として，地域福祉活動やボランティア活動の育成，各種の情報提供などに使わせていただきます。今後とも，皆さまの温かいご協力をお願いいたします。

「三原市社協だより」は，みなさまからの会費や寄付金により作られています